

JISA東京A・C・D合同地区会開催

令和6年2月7日（水）、大手町サンケイプラザ3階において、東京A・C・D合同地区会（東京A地区会代表幹事：吉村 晃一（株）アイネス代表取締役社長/東京C地区会代表幹事：前川 秀志（株）NSD取締役専務執行役員/東京D地区会代表幹事：澤田 千尋コムチュア（株）代表取締役 社長執行役員）が例会を開催した。参加者は124名。



冒頭、東京C地区会代表幹事の前川氏から「JISAでは「JISA2030 デジタル技術で『人が輝く社会』を創る」をコンセプトに先端IT人材の育成に注力している。今回は、宮本専務からJISAの活動報告をいただいた後に、プログラミング教育の普及や学校現場での生成AIを活用した授業等の実践を通じた情報教育の発展に尽力されている利根川氏をお招きして、ご講演をいただく予定となっている。」と開会挨拶があった。

続いて、JISA 関連報告として JISA 副会長兼専務理事の宮本 武史氏から「「失われた30年」と情報サービス産業～デジタル社会とは人が輝く社会」と題した講演があった。

その後、特定非営利活動法人みんなのコード 代表理事 利根川 裕太 氏から「学校教育での情報教育と生成 AI の利活用について」と題した講演があった。講演では「誰もが創造的にテクノロジーを楽しむ国にする」というビジョンのもと、学校教育支援事業とテクノロジー×子どもの居場所事業等の取組について、説明があった。

最後に、懇親会が同会場に行われ、活発な交流が行われた。



利根川氏講演の様子